

科目名 成人看護援助論Ⅲ 時間割表記名 成人看護学援助論Ⅲ	配当時期 2年次後期 単位数 1単位 時間数 30時間(15回)	講義担当者 甲斐 彰 今村祐太 前川友成 松尾僚太 佐々木主一 (実務経験のある教員)	
事前学習内容 1年次に学習した解剖生理学、看護形態機能学、疾病論、フィジカルアセスメントなどの学習内容の復習 成人看護援助論Ⅰの学習内容の復習			
授業目標 1. 救急・集中治療における患者及び家族の特徴を理解できる。 2. 救急・集中治療における患者及び家族の身体・心理状態のアセスメント及び看護について理解できる。 3. 救急・集中治療の場における治療・処置に必要な看護を理解できる。			
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。			
授業の流れ.			
回	学習内容	方法	備考
1	救急看護とクリティカルケアの特徴(身体的・精神的・社会的特徴) 救急医療体制と救急搬送システム 救急看護・クリティカルケアの場 救急・集中治療を必要とする患者・家族の特徴	講義	テキスト①②
2	緊急度・重症度のアセスメント 救急外来におけるトリアージ	講義	テキスト①②③
3	クリティカルな状態にある患者と家族の心理状態のアセスメント 危機的状態にある患者・家族へのケア 危機のプロセスと介入(危機理論の活用) 意思決定支援、代理意思決定支援	講義	テキスト①②
4	救急看護・クリティカルケアの場で使用される ME 機器の理解と看護 1)生体モニタリング機器 2)呼吸補助関連機器 3)循環補助関連機器 4)血液浄化関連機器	講義	テキスト①②④
5	主要病態に対する看護① 心肺停止	講義	テキスト①②④
6	主要病態に対する看護② ショック 外傷・熱傷・中毒	講義	テキスト①②④
7	冠状動脈バイパス術後の看護	講義	テキスト①③
8	人工呼吸器装着中の患者の看護 1)IPPV 中の管理とケア (1)加温・加湿 (2)気管内吸引 (3)体位ドレナージ	講義	テキスト①②④
9	ドレナージ管理が必要な患者の看護	講義	テキスト①②③④

	1)ドレーン管理の原則 2)観察とアセスメント 3)感染予防 (1)脳室ドレナージ (2)胸腔ドレナージ		
10	【事例展開】 1)脳神経機能障害(被殻出血)のある患者の情報収集 (1)生命の危機的状況にある患者の特徴と成人期をふまえた情報 収集の視点 (2)急性期における看護問題情報収集・アセスメント	講義 演習	テキスト①②③
11 12 13	2)看護過程の実際 (1)生命の危機的状況にある患者の治療内容の把握 (2)脳機能障害をもつ患者の関連図の構成要素	講義 演習	テキスト①②③
14	(3)生命の危機的状況にある患者・家族への看護介入	講義 演習	テキスト①②③
15	試験 まとめ	筆記試験 講義	
受講上の注意 事例展開では脳出血(被殻出血)についての事前学習を行い、講義を受講してください。			評価方法 筆記試験 レポート
使用するテキスト ① 系統看護学講座 別巻 救急看護学 ② 系統看護学講座 別巻 クリティカルケア ③ 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 ④ 系統看護学講座 専門分野 臨床看護総論			